

1 1) 大黒堂

御本尊：三面大黒天像

大黒堂は、その名の通り、大黒さまを祀るお堂ですが、その御本尊のお姿はたいへん個性的です。

なんと、1体の像に大黒天、毘沙門天、弁才天の顔がある、「三面大黒天」と呼ばれる像なのです。

したがって、商売繁盛、福德円満、子孫繁栄

(縁結び) など、多岐に渡るご利益が期待できるとして、庶民の間で篤く信仰されてきました。



1 2) 英霊堂

御本尊：阿弥陀如来像

英霊堂はもとは鐘楼であり、明治 39 年に建設されました。

聖徳太子の 1300 年御遠忌を記念して巨大な梵鐘を铸造し、これを吊るために柱間 3 間四方の破格



に巨大な鐘楼がつけられた。

大規模な梵鐘、鐘楼をつくることは中世以来の歴史があり、四天王寺の巨大な鐘楼もこの伝統が近代にまで受け継がれた数少ない遺構といえる。その平面、高さともに、わが国最大級の規模である。中之門から本坊にいたる主要参道に面して建ち、巨大な鐘楼は地域のランドマークとなっている。

戦時中の金属供出により梵鐘は取り外され鐘楼としての役目を終えたが、戦後、柱間に外壁が付加されて、戦没者を慰霊する英霊堂として使用されている。

